

高齢者带状疱疹予防接種を開始します

～4月1日以降、高齢者等を対象に带状疱疹ワクチンの定期接種を開始～

千葉市では、带状疱疹の発症および带状疱疹後神経痛を予防するため、令和7年4月1日（火）から、高齢者等を対象とした带状疱疹ワクチンの定期接種を開始しますので、お知らせします。

1 定期接種の概要

(1) 接種開始日

令和7年4月1日（火）から

(2) 対象者

- ・年度内に65歳を迎える方
- ・60歳から64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方
- ・令和7年度から令和11年度までの5年間、その年度内に70、75、80、85、90、95、100歳となる方

※令和7年度に限り100歳以上の全ての方も対象

(3) 接種回数（どちらかを選択）

生ワクチン 1回

不活化ワクチン 2回

2 実施体制

(1) 接種場所

市内協力医療機関での個別接種（約300カ所）

(2) 予約方法

接種希望者が協力医療機関へ直接予約

3 自己負担金

ワクチンの種類	接種回数	自己負担金		
		あり	一部免除	免除
			非課税世帯に属している方	生活保護受給者 中国残留邦人等支援給付受給者
生ワクチン	1回	4,000円	2,000円	0円
不活化ワクチン	2回	10,000円×2回	5,000円×2回	0円

4 予診票等の配布場所

市内協力医療機関、各区役所総務課、各保健福祉センター高齢障害支援課、市民センター、千葉市役所医療政策課（高層棟8階）など

※3月下旬頃から配布開始予定

5 周知方法

- ・市政だより4月号
- ・市ホームページ

【URL】<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seisaku/taijouhoushin.html>

その他、市公式SNSなどでも周知



<参考>

1 带状疱疹について

带状疱疹は、過去に水痘（水ぼうそう）にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱（水膨れ）が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

2 ワクチンについて

带状疱疹ワクチンには生ワクチン、不活化ワクチン（組み換えワクチン）の2種類があり、いずれか1種類を接種します。各ワクチンは、接種回数や接種方法、接種スケジュール、接種条件、効果とその持続期間、副反応などの特徴が異なります。詳細は厚生労働省ホームページをご確認ください。

【URL】https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/kenkou/kekaku-kansenshou/yobou-sesshu/vaccine/shingles/index.html

